



住宅リフォーム助成制度の

復活を求める

日本共産党 佐々木 弘

■ 本市において、平成23年度から昨年度まで、個人住宅向けの一般リフォーム工事に対する助成制度が、他自治体に比べても、非常に充実した内容と水準で実施されてきました。市民の住環境向上はもとより、市内経済への効果や定住促進策の一環として非常に有効な施策であり、大変評価できるものでした。

答 (市長) 今回、本条例会に住宅政策審議会条例を上程せることになります。この付帯行為は、人口減による人口減少による



また、さまざまなかつてから助成制度を復活してほしいといふ要望が寄せられており、その際、私は「今後、一切やります」という話はしておりません。

リフォームとともに、市民の方が耐震工事をやっていただければよいと考えているのですが、費用が高くてなかなかできないという状況があります。

そういう部分も含め、住宅政策審議会の中で色々な議論をしていだいて、今後より良い政策を打ち出していくたいと考えています。

答 **(教育部次長)**：建設資材は進化しており、新素材も開発されているので、合わせガラスも含めて導入について検討したいと考えております。

・SDGs 持続可能な開発目標の取り組みについて

・公共施設のあり方について



防災対策について

公明党 日吉 弘子

答 **（市長室長）**：全国初の緊急走行ができる起震車となつて、熊本地震など大規模自然災害の教訓を風化させないためにも、意識啓発や防災・減災対策の継続的な取り組みが必要です。昨年の12月議会の一般質問で要望し、導入が決定した起震車の機能と進捗状況について伺います。

問 現在は装備の装着中で 7月中旬までに完成予定です
ペツトの災害対策の充実について、これまでの取り組みとペツトの防災講演会、避難時のしつけ講座の開催についての見解を伺います。

答　**経済環境部次長**：先月、県央4市では初めてとなる「災害時等における動物救護活動に関する協定」を相模獣医師会と締結しました。これは、負傷動物の応急治療や、飼い主不明の動物の一時保護などが目的です。

防災講演会は、ペットのしつけの大切さ、餌の備蓄、同行避難時の注意点などをテーマに、動物愛護団体の方を講師に招き本年9月に、犬のしつけ教室は、9月と10月に開催予定です。その中で、アンケート調査を実施し、今後のペットの災害対策に活用していきたいと考えています。

問　避難所施設となる学校のガラスに飛散防止フィルムを貼っていましたが、紫外線により劣化し効果が落ちることがあるので、今後、最も安全な合わせガラスの設置を希望したいと思いますが、見解を伺います。

(市長)：ごみの減量化は重要な課題であり、しっかりと取り組んでいく必要があります。環境審議会では、有料化や戸別収集を含む中間答申に対する、パブリックコメントや自治会説明会での意見を踏まえ、最終答申についてご審議いただいています。最終答申をいただいた後、市としてこの基本的な考えをまとめ、再度市民から意見を求めた上で方向性を決定していきたいと考えております。

税金の二重取りではないかという話もありますが、全国的に見て6割以上がごみの有料化を実施しており、ごみを

税金の二重取りではないかという話もありますが、全国的に見て6割以上がごみの有料化を実施しており、ごみを出す量によって負担していく大く形です。しかしながら、これは、市民の理解があつてできることなので、いろいろな意見を聞きながら、判断していくたいと思います。



ごみの政策のあり方について

日本共産党 松本正幸

問 今年の3月議会で、家庭糞ごみの有料化の今後の方向性について質問したところ、環境審議会の本答申が出た段階でも、市民の意見をいただいた上で、最終的に市長として判断していきたいという答弁でした。昨年に実施した市政アンケートでは、分別の徹底や生ごみ処理機による分別が有効という回答が多数でした。環境審議会の中間答申に対するパブリックコメントでは、有料化の前にやるべきことがあるのではないか、不法投棄やマナーの悪化が懸念される、税金の二重取り、ごみの処理は税金で賄われるべきなど有料化に否定的な意見が寄せられています。

家庭系ごみの有料化は①お金の問題となり、減量の意義が長続きしない②お金を払っているから何を捨ててもよいという、分別とは正反対の誤ったモラルが醸成されやすい③不法投棄を助長する—などの問題点が指摘されています。ごみの有料化ではなく徹底した分別、リサイクルに市民を取り組むことを目指すべきではないでしょうか。市長の考

答 (市長) …ごみの減量化は重要な課題であり、しっかりと

と取り組んでいく必要があります。環境審議会では、有料化や戸別収集を含む中間答申に対する、パブリックコメントや自治会説明会での意見を踏まえ、最終答申についてご審議いただいています。最終答申をいただいた後、市としての基本的な考え方をまとめ、再度市民から意見を求めて方向性を決定していきたいと考えております。

税金の二重取りではないかという話もありますが、全国的に見て6割以上がごみの有料化を実施しており、ごみを出す量によって負担していたく形です。しかしながら、これは、市民の理解があつてできることなので、いろいろな意見を聞きながら、判断していくかと思います。

・公共施設のあり方について

第1回 ・市立図書館のあり方について ・SDGs持続可能な開発目標の取り組みについて